

## 【とっこめくんのともだちスゴロク】あそびかた

- スゴロク A4サイズ2まいをはりあわせてね。  
ぬりえもできます(^o^)
- サイコロ、コマ きりぬいて、てんせんをやまおりしてのりづけしましょう。  
すきなコマをつくることもできます。

### 解説（おうちの方へ）

狛犬	神社には、いろいろな狛犬が居ます。近くの神社に行ってみてください。		
土偶	土偶は女性をかたどって縄文人が作りました。郷土資料館でいろいろな土偶を見ることが出来ます。	鎌ヶ谷市郷土資料館	中央1-8-31
狐	明治2年に小金中野牧の開墾がスタートしました。その初めの場所が「初富」です。初富稲荷神社は、京都の伏見稲荷を勧請して初富の鎮守とした神社です。	初富稲荷神社	初富本町1-4-2
鎌ヶ谷大仏	鎌ヶ谷大仏は、1776年に福田文右衛門が先祖と子供の供養のためにつくりました。それから約250年、この地域を見守ってくれています。	大仏墓地内	鎌ヶ谷1-5
猿	60日に一度くる庚申の日に、人の体にいる三尸の虫が、寝ている間に天に昇り、その人の行いを伝えて寿命が決まると信じられており、そのため、人々は眠らずにその日を過ごし、7回行くと虫はいなくなるため、それを記念してつくられたのが庚申塔です。庚申信仰と三猿信仰が結びつき、庚申塔には猿が彫られているものが多くあります。庚申塔は、江戸時代に盛んにつくられました。道端や神社にありますので、猿を探してみてください。	八坂神社境内	栗野208
野馬の親子	鎌ヶ谷市域の一部は、江戸幕府の馬の牧「小金中野牧」が広がっていました。馬は多い時で300頭いました。牧にいる馬を野馬と呼び、野馬を年に1度捕まえる「野馬どり」の時に、野馬を選別する場所が「とっこめ」です。とっこめくんのおいしいちゃんは、「牧士(もくし)」でした。普段は農民ですが、牧の仕事の時は武士の身分が与えられ、村人たちのリーダーとなって、野馬の管理をしていました。	貝柄山公園	初富本町2-22
		捕込(とっこめ)	東中沢2-1

※鎌ヶ谷市の文化財についてはホームページで写真などを見ることが出来ます。

※郷土資料館でも詳しく知ることが出来ます。

鎌ヶ谷市教育委員会文化・スポーツ課 文化係  
047-445-1528

